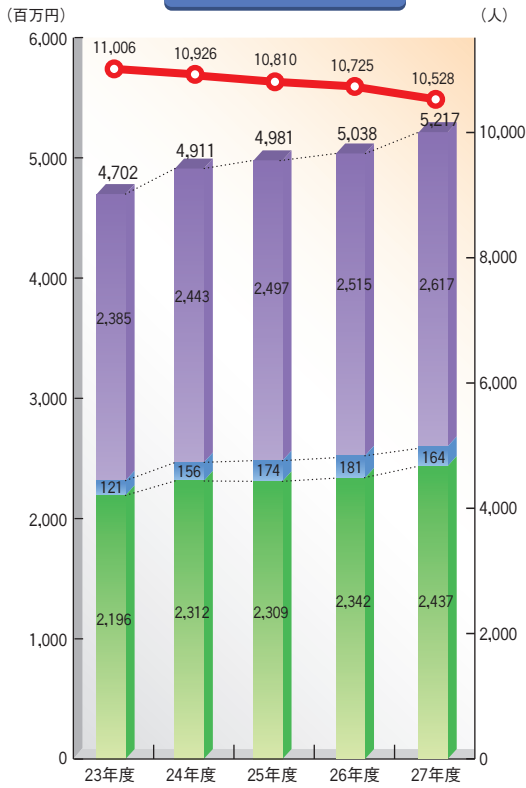


上三川町

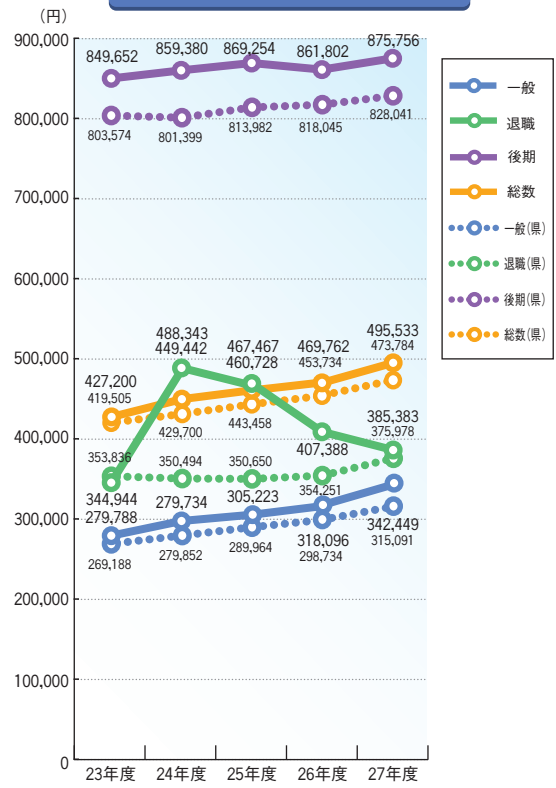
# 上三川町



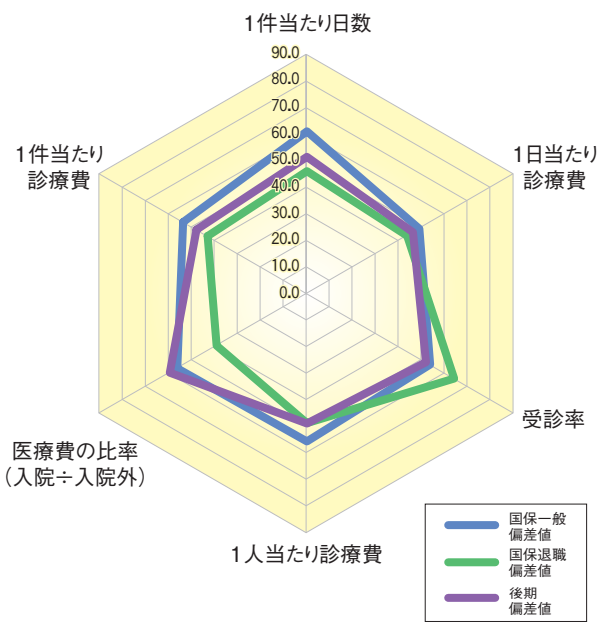
### 医療費の推移



### 1人当たり医療費の推移

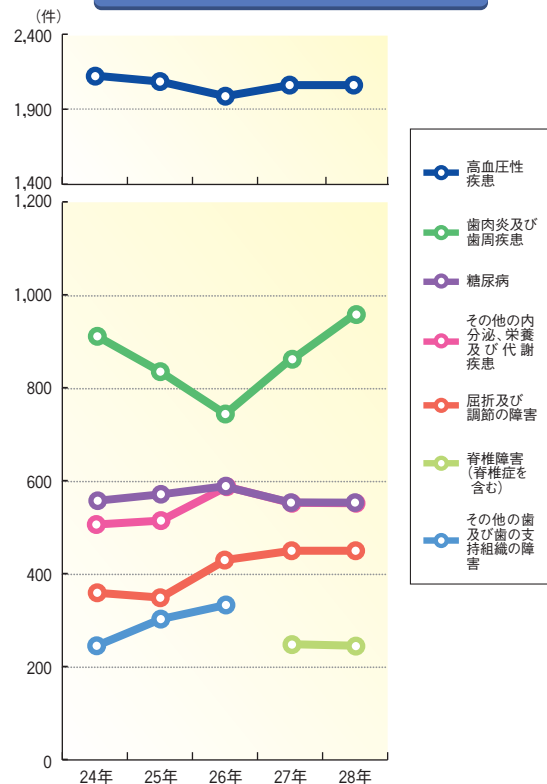


### 平成27年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

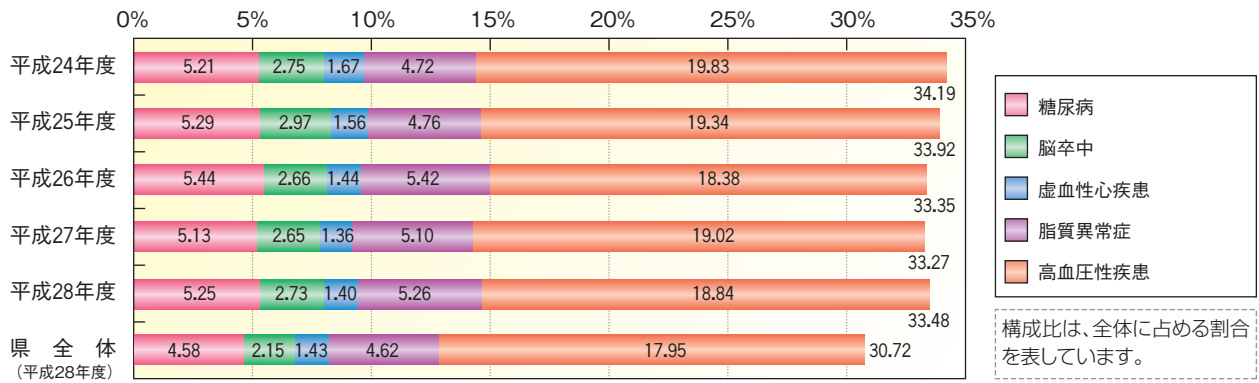


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

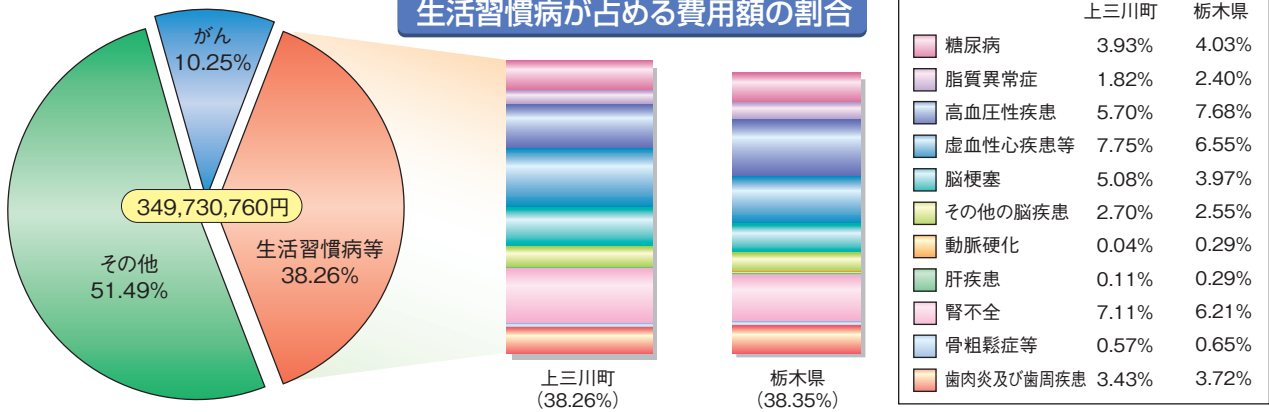
### 多受診疾病上位6位の推移



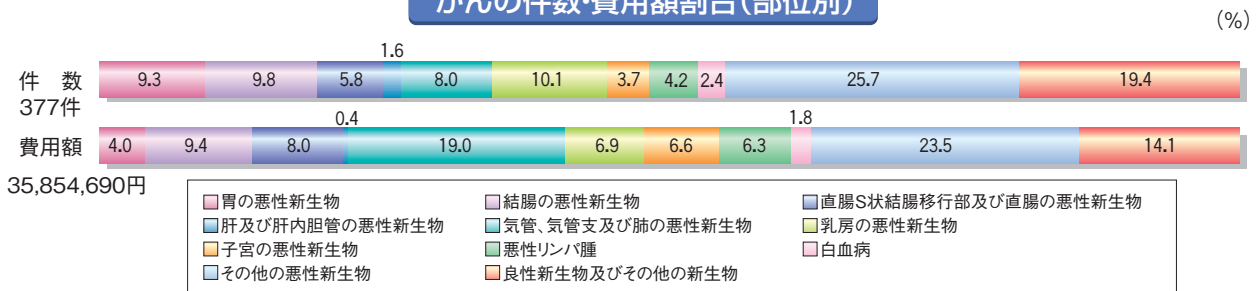
## 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



## 生活習慣病が占める費用額の割合



## がんの件数・費用額割合(部位別)



## 上三川町の状況

### ★医療費の状況及び被保険者数

平成27年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,436,523千円(104.1%)、退職163,788千円(90.3%)、後期2,616,540千円(104.0%)で、全体では5,216,850千円(103.6%)と増加している。( )は前年度との比較。

平成27年度平均被保険者数は10,528人で、内訳は一般7,115人、退職425人、後期2,988人である。前年度比較すると全体で98.2%と減少している。

また、平成27年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は495,533円(25,771円増)、一般は342,449円(24,353円増)、退職は385,383円(22,005円減)、後期は875,756円(13,954円増)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、一般は、1件当たり診療費以外の項目の偏差値が高く、退職は、受診率以外の項目が低い偏差値で、後期は、1件当たりの日数、受診率、医療費の比率が高い偏差値となっている。

### ★疾病の状況

平成28年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位屈折及び調節の障害、6位脊椎障害(脊椎症を含む)で、中でも6位の脊椎障害(脊椎症を含む)の費用額は前年比2.51倍となっている。

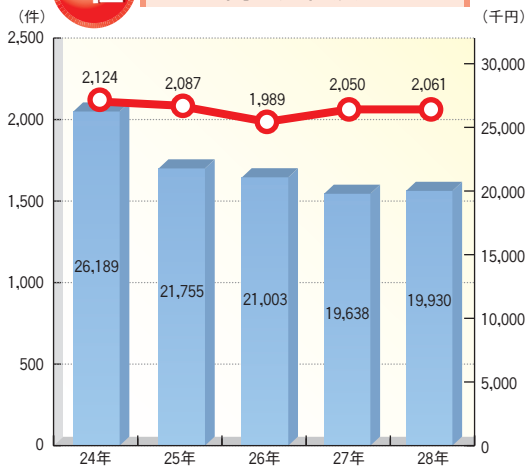
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高く、その中でも高血圧性疾患の占める割合が高い構成値となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成28年5月診療分の総費用額が349,730,760円で、がんが10.25%、生活習慣病関連が38.26%を占めている(県全体 がん12.31%、生活習慣病関連38.35%)。費用額の占める割合が高い疾病は、虚血性心疾患等7.75%、腎不全7.11%、高血圧性疾患5.70%、となっている。

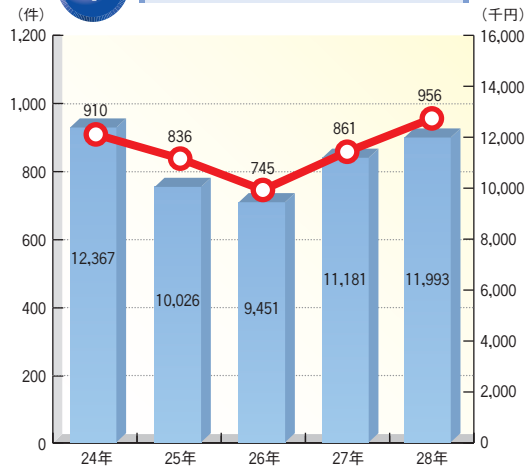
がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、乳房の悪性新生物、結腸の悪性新生物、胃の悪性新生物、費用額では気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっております。

# 多受診疾病 上位6の年次推移

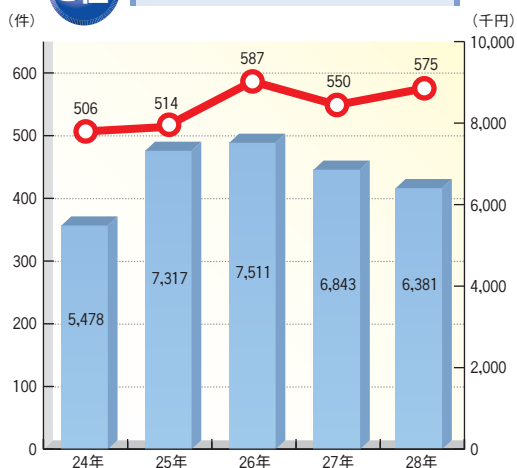
## 1位 高血圧性疾患



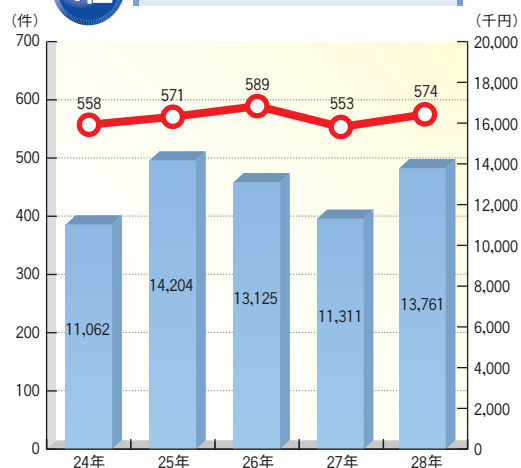
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



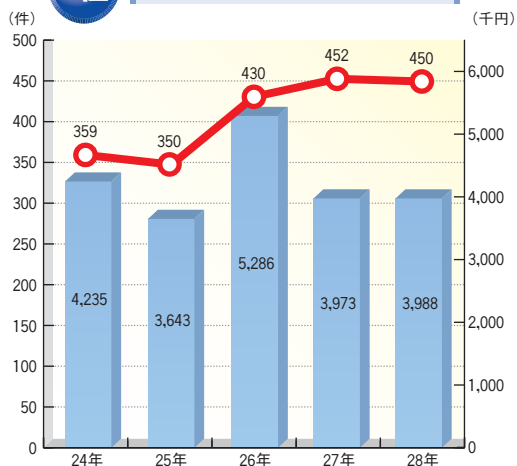
## 3位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 4位 糖尿病



## 5位 屈折及び調節の障害



## 6位 脊椎障害(脊椎症を含む)

